

岡安証券

～注目・外株銘柄～

(2024年7月)

【米国市場・20銘柄掲載】

(株価データ、株価指標は現地2024年6月27日現在)

<追加>

P1【半導体】 ブロードコム(AVGO)

P2【ITサービス】 IBM(IBM)

<継続>

P3【マグニフィセント7】 エヌビディア(NVDA)

P4【マグニフィセント7】 マイクロソフト(MSFT)

P5【マグニフィセント7】 アップル(AAPL)

P6【マグニフィセント7】 アルファベット(GOOG)

P7【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)

P8【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ(META)

P9【マグニフィセント7】 テスラ(TSLA)

P10【製薬大手】 イーライ・リリー(ELY)

P11【医薬バイオ】 アムジェン(AMGN)

P12【半導体設計】 アーム・ホールディングスADR(ARM)

P13【半導体】 台湾セミコンダクターADR(TSM)

P14【半導体】 マイクロン・テクノロジー(MU)

P15【半導体】 クアルコム(QCOM)

P16【半導体】 アプライド・マテリアルズ(AMAT)

P17【半導体】 ラムリサーチ(LRCX)

P18【SaaS系企業】 サービスナウ(NOW)

P19【セキュリティ】 クラウドストライク・ホールディングス(CRWD)

P20【動画配信】 ネットフリックス(NFLX)

<追加>

企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手
連続増配実績を持つIT業界の老舗企業

<継続>

時価総額トップとなった、画像処理半導体(GPU)開発企業
ソフトウェア世界最大手

デジタルIT機器の設計・販売大手

インターネット検索世界最大手

インターネット小売世界最大手

SNS運営世界最大手

米電気自動車(EV)大手

肥満症薬で注目される米製薬大手

NYダウ採用のバイオ医薬品メーカー

省エネ型の半導体設計技術を提供

半導体受託製造の世界最大手

米半導体メモリ大手

携帯電話向け半導体最大手

半導体製造装置の世界最大手

半導体製造装置(前工程)大手

業務自動化クラウド企業

高成長のエンドポイント・セキュリティ企業

動画配信の世界最大手

通信用半導体大手。カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

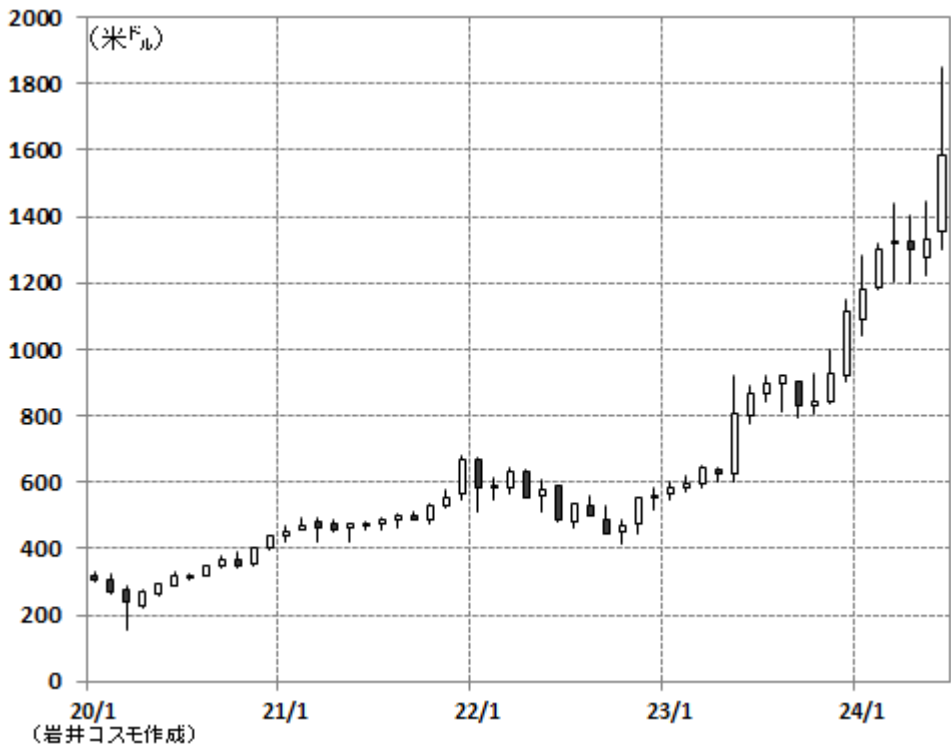
会社概要

2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

注目ポイント

カスタム半導体等のAI半導体を供給: 巨大なデータセンターを持つ、複数のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC(特定用途集積回路)を提供するほか、AIサーバ同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給。データセンター投資活発化を追い風に会社側は、これらのAI半導体の24年10月期の売上高は110億ドルと見込む。

VMウェア買収効果、株式分割予定: 仮想化ソフト世界最大手のVMウェアを23年11月に取得、当該M&A後に収益性は低下したが、完全サブスク化を進め、収益性を回復軌道に乗せると会社側。6月の前回決算で7月15日を落日とする1対10の株式分割を発表した。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	1586.66 (06/27)
52週高値(日付)	1851.62 (24/06/18)
52週安値(日付)	795.4 (23/09/21)
時価総額	7,386億ドル 1,18兆7,328億円
株価変化率(%)	40.9 (過去6ヶ月間) 87.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	60.3 (倍)
株価売上高比率	16.3 (倍)
PBR	10.5 (倍)
税前列当利回り(%)	1.32 (直近年率)
配当成長率(%)	13.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.3 (%)
株式ベータ	1.34 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/10	33,203	21	14,225	67	11,223	74	26.53	16.40
2023/10	35,819	8	16,207	14	14,082	25	32.98	18.40

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q2	8,733	—	4,008	—	3,481	—	8.15	4.60
2024/Q2	12,487	43	2,965	-26	2,121	-39	4.42	5.25

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

IT(情報技術)業界の老舗 融合型クラウドやAI分野で収益基盤を再構築

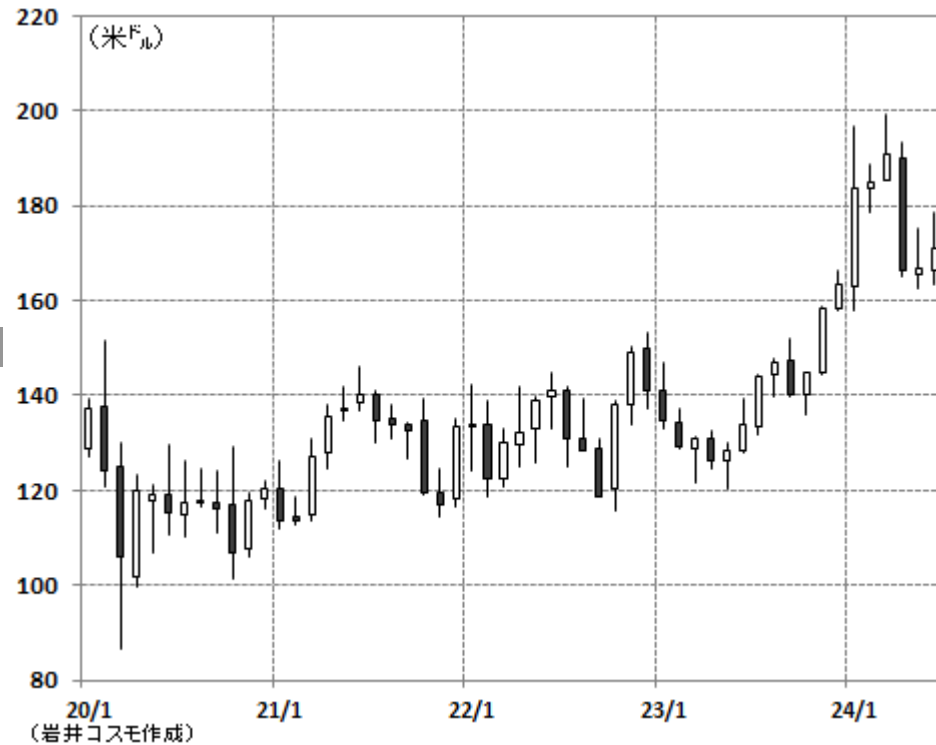
会社概要

1910年設立。老舗企業でコンピュータサービス大手。米国特許の取得件数の年間ランキングで上位の常連組。1960-70年代にメインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業で一時代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだものの、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

注目ポイント

□ハイブリッドクラウドとAIを強化: 2019年にオープンソースソフト大手のレッドハットを買収、21年11月にはITインフラサービス事業を分社化、オンプレミス(自社運用)とクラウドの融合型の「ハイブリッドクラウド」とAI(人工知能)等の分野に経営資源のシフトを図った。日本の次世代半導体量産化を目指す、ラピダスにはIBMが半導体の技術供与している。

□M&Aを通じてクラウド・サービスを強化: 24年4月にIBMは、クラウドインフラを管理するソフトウェアを手掛けるハシコプを64億ドルで買収すると発表、年内取得完了を見込む。複雑化したクラウド環境に対応してコンサルから運用等まで包括的なクラウドサービスを提供する狙いがある。



株価データ	
株価(米ドル)	170.85 (06/27)
52週高値(日付)	199.18 (24/03/12)
52週安値(日付)	130.83 (23/06/27)
時価総額	1,569億ドル 25兆2,302億円
株価変化率(%)	4.5 (過去6ヶ月間) 29.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	18.6 (倍)
株価売上高比率	2.5 (倍)
PBR	6.7 (倍)
税前配当利回り(%)	3.91 (直近年率)
配当成長率(%)	0.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	36.5 (%)
株式ベータ	0.74 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	60,530	6	1,156	-76	1,639	-71	1.80	6.59
2023/12	61,860	2	8,690	7.5倍	7,502	4.6倍	8.14	6.63

四半期業績

2023/Q1	14,252	—	1,058	—	927	—	1.01	1.65
2024/Q1	14,462	1	1,074	2	1,605	73	1.72	1.66

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AIに欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握へ

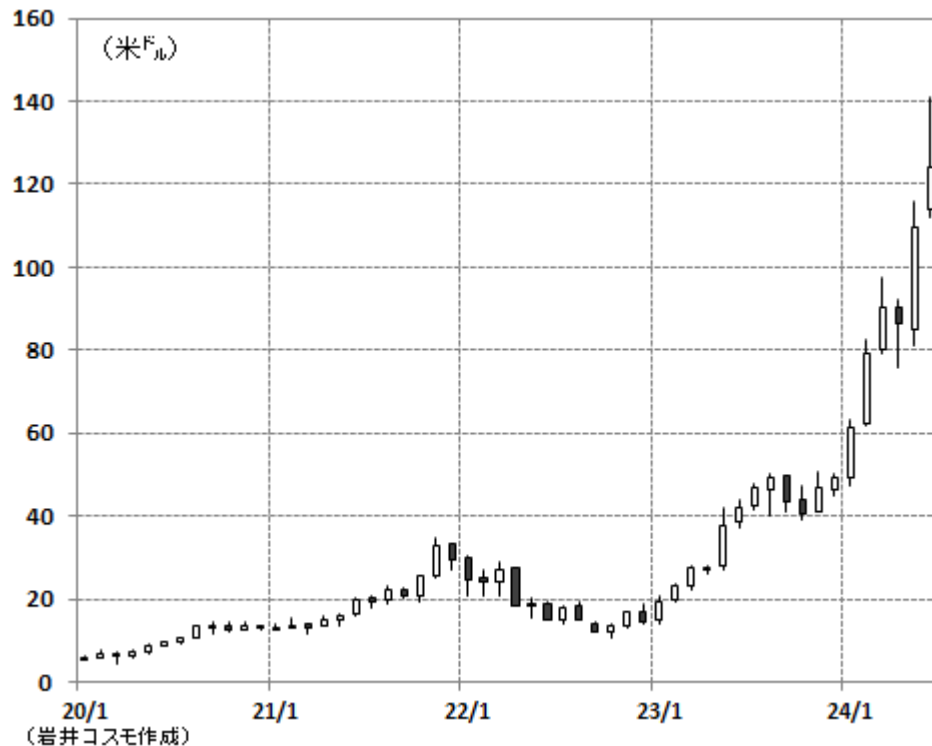
会社概要

1993年設立の米国の半導体メカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメカで台湾セコンダクタや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが78%、ゲーム市場向けが17%、視覚化技術に関するプロ向けが3%、自動車向けが2%、OEM&IPが0.5%(24年1月期)。

注目ポイント

□ **AI半導体で主導権を握る**: 人工知能の計算処理に同社の半導体が広く利用され、コア(処理装置)を多数連結した高性能・最高級GPUの販売単価は数万ドルするが今やAIインフラの必須アイテム。AI計算の開発環境やGPUと共に動くCPU、人型ロボットの基盤モデル等も開発。創薬支援等多くの企業と提携、AIで主導権を握りつつある。

□ **「ブラックウェル」の後は「ルービン」**: 6月の台湾IT見本市の基調講演でジェンスファンCEOが次世代GPU名称を「ルービン(暗黒物質の発見者ベラ・ルービン氏に因む)」と発表。今後の製品スケジュールは「ブラックウェル(24年)*ゲーム理論提唱の数学者名が由来」、「ブラックウェル・ウルトラ(25年)」、「ルービン(26年)」、「ルービン・ウルトラ(27年)」となる見込み。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	123.99 (06/27)
52週高値(日付)	140.76 (24/06/20)
52週安値(日付)	39.235 (23/10/31)
時価総額	3兆0,502億ドル 490兆3428億円
株価変化率(%)	150.9 (過去6ヶ月間) 196.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	72.2 (倍)
株価売上高比率	38.3 (倍)
PBR	62.4 (倍)
税配前当利回り(%)	0.03 (直近年率)
配当成長率(%)	37.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	115.7 (%)
株式ベータ	1.62 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/01	26,974	0	4,224	-58	4,368	-55	1.74	0.16
2024/01	60,922	126	32,972	8倍	29,760	7倍	11.93	0.16

四半期業績

2024/Q1	7,192	—	2,140	—	2,043	—	0.82	0.04
2025/Q1	26,044	3.6倍	16,909	7.9倍	14,881	7.3倍	5.98	0.04

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

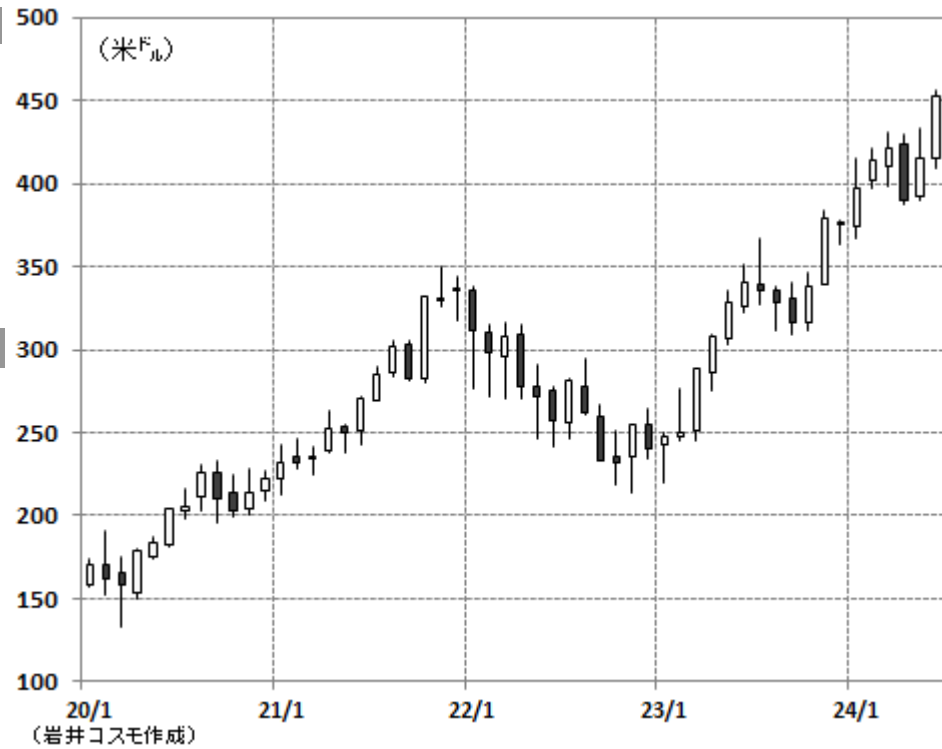
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□ **クラウド事業の拡大が奏功**: マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理等のクラウド「アジュール」、リンクインなどが成長けん引役である。

□ **サポート生成AIが実装・収益貢献**: 23年9月更新の「ウィンドウズ11」にAI支援機能「コパイロット」を追加、商用サービスが開始された。出資先のオープンAIの技術をフル活用してAIに指示してパソコン操作を代行できる。24年1-3月期の「アジュール」の増収率31%のうち、7ポイントはAIサービスによるもので、寄与度が前四半期の6ポイントから拡大した。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	452.85 (06/27)
52週高値(日付)	456.15 (24/06/27)
52週安値(日付)	309.49 (23/09/28)
時価総額	3兆3,657億ドル 541兆0731億円
株価変化率(%)	21.1 (過去6ヶ月間) 35.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	39.2 (倍)
株価売上高比率	14.2 (倍)
PBR	13.3 (倍)
税前配当利回り(%)	0.66 (直近年率)
配当成長率(%)	10.2 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	38.5 (%)
株式ベータ	1.10 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/06	198,270	18	83,383	19	72,738	19	9.65	2.48
2023/06	211,915	7	88,523	6	72,361	-1	9.72	2.72

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q3	52,857	—	22,352	—	18,299	—	2.45	0.68
2024/Q3	61,858	17	27,032	21	21,939	20	2.94	0.75

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

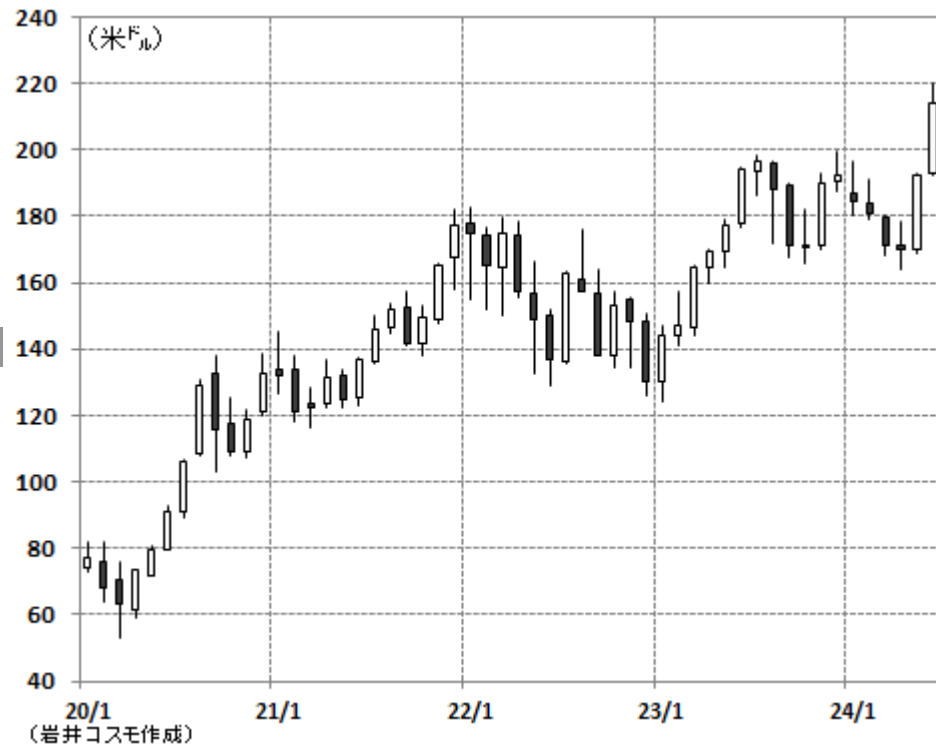
会社概要

スマートフォン(スマホ)「iPhone」や、タブレットPC「iPad」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、12年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **4-6月期売上見通しは「1桁前半の伸び」**：1-3月期は前年同期比4%減収、2%最終増益。iPhone販売の低調を音楽・映像・データ保管等のサービスの伸びで補った。株主還元では4%増配と米史上最大規模となる1,100億ドルの自社株買い計画も発表。4-6月期売上見通しは同1桁前半の伸び、サービスとiPadが2桁伸びの見込み。

□ **次世代iPhoneの期待高まる**：6月に年次開発者会議を開催。オープンAIと提携し、Chat GPTと基本ソフト「iOS18」が統合、テキストの生成/校正、画像の生成、音声AIのSiri機能改善が備わった独自のAI「アップル・インテリジェンス」が今秋開始となる(英語のみ)。例年9月に発表される次世代iPhoneへの期待が高まること予想される。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	214.1 (06/27)
52週高値(日付)	220.2 (24/06/12)
52週安値(日付)	164.08 (24/04/19)
時価総額	3兆2,830億ドル 527兆7794億円
株価変化率(%)	10.8 (過去6ヶ月間) 13.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	33.3 (倍)
株価売上高比率	8.7 (倍)
PBR	44.3 (倍)
税配前当利回り(%)	0.47 (直近年率)
配当成長率(%)	4.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	147.2 (%)
株式ベータ	1.12 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/09	394,328	8	119,437	10	99,803	5	6.11	0.900
2023/09	383,285	-3	114,301	-4	96,995	-3	6.13	0.940

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q2	94,836	—	28,318	—	24,160	—	1.52	0.230
2024/Q2	90,753	-4	27,900	-1	23,636	-2	1.53	0.240

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

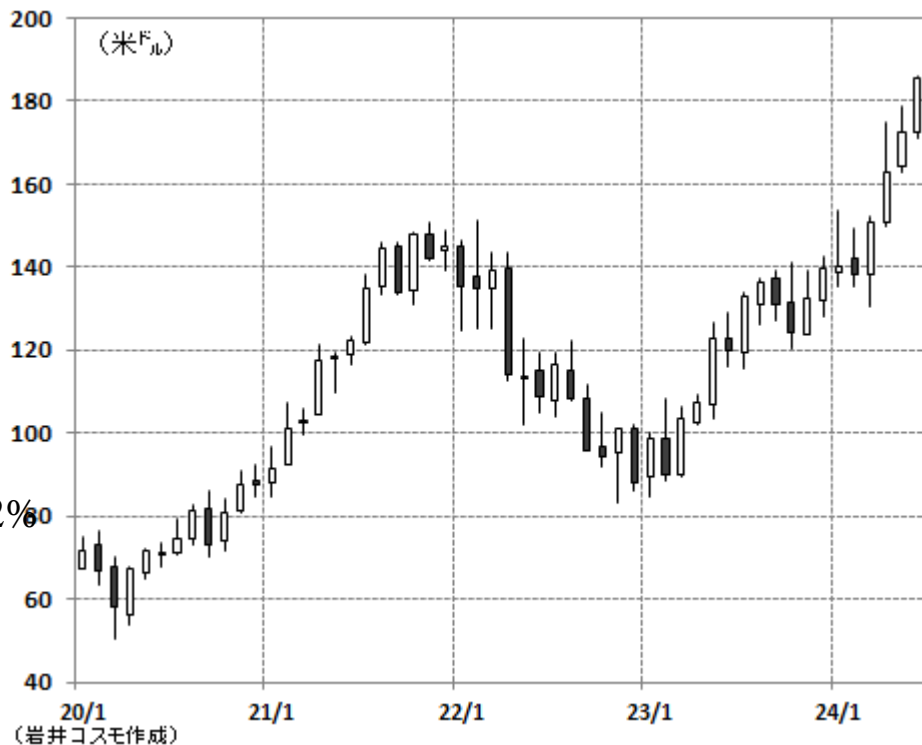
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は180,895人(24年3月末)。

注目ポイント

□ **業績好調・配当開始**: 1-3月期決算は広告収入の伸び加速やクラウドの大幅増収増益、リストラ進展も奏功して前年同期比4割営業増益。ストレーミングサービスやYouTube TV等のサブスク課金も貢献した。上場初の配当開始(四半期・0.20ドル/株)と700億ドルの追加自社株買いも発表。4月以降、マーケティングソフトのハブスポットの買収観測が出ている。

□ **生成AI活用の検索結果を反映**: 5月に開発者会議「グーグル/O」を開催、AI機能の進化が披露された。「AIオーバービュー」と呼ばれる生成AIの回答結果を検索結果に反映したサービスはリンク先紹介よりも目立つ位置に表示させる。既に米国で利用可能で向こう数ヶ月で多くの国に提供され、年内に10億人以上が利用できる予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	185.41 (06/27)
52週高値(日付)	186.05 (24/06/27)
52週安値(日付)	115.36 (23/07/11)
時価総額	2兆3,001億ドル 369兆7593億円
株価変化率(%)	32.1 (過去6ヶ月間) 56.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	28.0 (倍)
株価売上高比率	7.3 (倍)
PBR	7.8 (倍)
税前提当利回り(%)	0.43 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	29.8 (%)
株式ベータ	1.18 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	282,836	10	74,842	-5	59,972	-21	4.56	0.00
2023/12	307,394	9	84,293	13	73,795	23	5.80	0.00

四半期業績

2023/Q1	69,787	—	17,415	—	15,051	—	1.17	0.00
2024/Q1	80,539	15	25,472	46	23,662	57	1.89	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

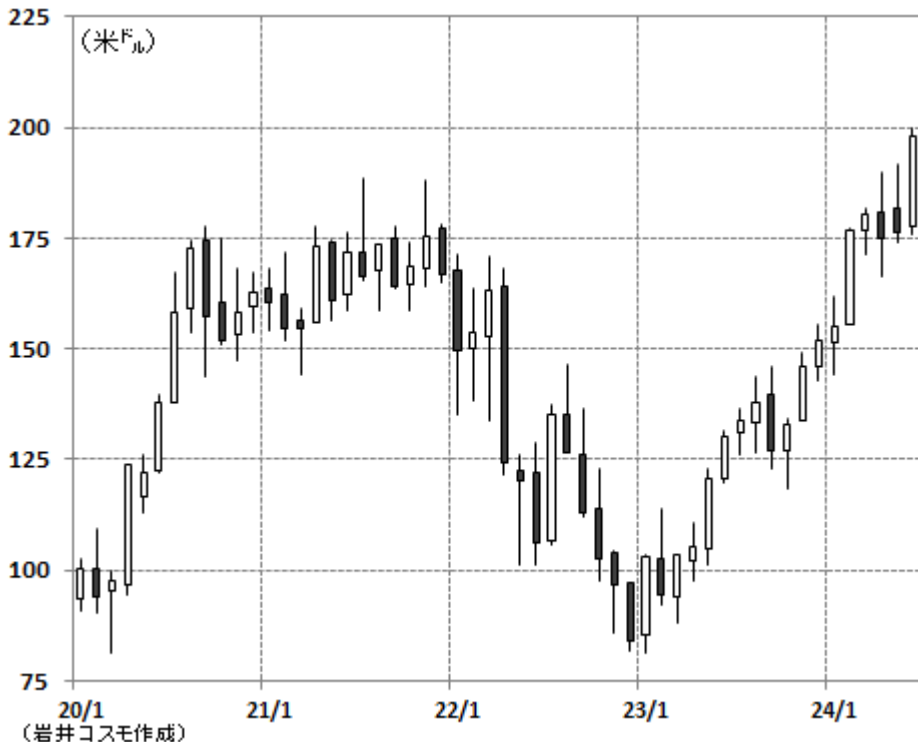
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「Kindleファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントンシアトル。2024年2月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ リストラ・AWS加速・輸送効率改善: 1-3月決算は前年同期比3.3倍の最終増益の着地。引き続き人員削減による経費抑制に加えて配送効率の改善、海外事業の営業黒字転換も寄与。売上内訳ではオンライン小売・直販が同7%伸びたほか、広告が同24%増と好調維持。クラウドのAWSは同17%増と前四半期から伸びが再加速、企業の生成AIの利用拡大はクラウド基盤のAWSの需要を高めているとした。

□ 中国から直送でディスカウント販売を計画か: 競合する中国のTemuやSHEINと同様に、アマゾンが中国から商品を直接配送する形式でディスカウント販売する計画があると報じられた。大量の広告戦略と低価格を武器に衣類・雑貨販売で隆盛するライバル2社に対抗する模様。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	197.85 (06/27)
52週高値(日付)	199.82 (24/06/27)
52週安値(日付)	118.35 (23/10/26)
時価総額	2兆0,590億ドル 330兆9970億円
株価変化率(%)	29.0 (過去6ヶ月間) 53.2 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	53.9 (倍)
株価売上高比率	3.5 (倍)
PBR	9.5 (倍)
税前列当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	20.3 (%)
株式ベータ	1.27 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	513,983	9	12,248	-51	-2,722	赤転	-0.27	0.00
2023/12	574,785	12	36,852	201	30,425	黒転	2.90	0.00
四半期業績								
2023/Q1	127,358	—	4,774	—	3,172	—	0.31	0.00
2024/Q1	143,313	13	15,307	3.2倍	10,431	3.3倍	0.98	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

メタ・プラットフォームズ(META)

約40億人のユーザーを抱える世界最大のSNS運営会社

会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、会員数(月間稼動、インスタグラムなども含む)は全世界で39.8億人(24年1-3月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。21年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は約69,329人(24年3月末時点)。

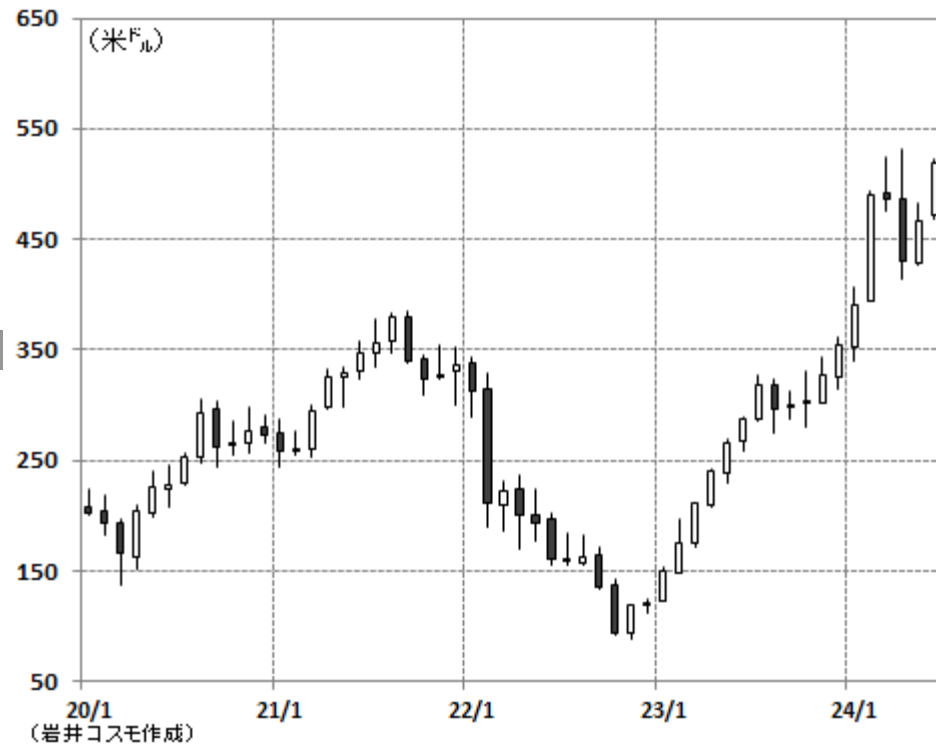
注目ポイント

□ **売上再加速も・費用増見込みを示唆**：1-3月期の前年同期比・増収率が+27%と短編動画広告の収益改善等の新タイプの広告がけん引する形で再加速した。他方、野心的なAI研究と製品開発をサポートするために、今期設備投資額を従来300億-370億ドルから350億-400億ドルへ増額修正、来期も増加する見通しを示した。

□ **広告主向け生成AIツールを拡充**：5月7日に広告主向けの広告自動作成ツール(試作版・無料)を発表、自社の大規模言語モデル「ラマ3」を搭載、提供する写真で別の画像が生成されるとした。メタの広告主の大半は中小企業で広告作成のコスト削減に貢献できるとした。

上場市場
ナスダック

セクター
インターネットサービス



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	519.56 (06/27)
52週高値(日付)	531.44 (24/04/08)
52週安値(日付)	274.39 (23/08/18)
時価総額	13,180億ドル 211兆8881億円
株価変化率(%)	45.2 (過去6ヶ月間) 81.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	26.9 (倍)
株価売上高比率	9.3 (倍)
PBR	8.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.38 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	33.4 (%)
株式ベータ	1.24 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	116,609	-1	28,944	-38	23,200	-41	8.59	0.00
2023/12	134,902	16	46,751	62	39,098	69	14.87	0.00
四半期業績								
2023/Q1	28,645	—	7,227	—	5,709	—	2.20	0.00
2024/Q1	36,455	27	13,818	91	12,369	117	4.71	0.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆す電気自動車メーカー最大手

会社概要

2003年創業の世界最大の電気自動車(EV)の専門メカ。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。2020年12月にテスラ株はS&P500種指数に採用された。最高経営責任者(CEO)のイーロン・マスク氏は宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任するなど、世界を代表するカスマ経営者として知られる。

注目ポイント

□EV需要減退・競争激化・人員削減: 各国の一部購入補助金の見直しや中国BYD等のEVメカとの競争激化に直面、需給の悪化による増加した在庫削減のため、各国で値引きを実施、全社員の1割の人員削減に踏み切った。5月発行の年次レポートでは2029年末までに年間2000万台販売する目標が削除された。

□次世代量産車の投入を前倒し: 4月23日の決算発表で「次世代低価格量産車」の投入時期を当初の25年後半から25年前半に前倒しすると表明、次期モデルを改良した既存設備で生産する計画に改められた。8月8日に自動運転タクシーについて発表する予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	197.42 (06/27)
52週高値(日付)	299.29 (23/07/19)
52週安値(日付)	138.82 (24/04/22)
時価総額	6,296億ドル 101兆2163億円
株価変化率(%)	-24.5 (過去6ヶ月間) -21.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	88.8 (倍)
株価売上高比率	6.6 (倍)
PBR	9.8 (倍)
税前列当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	24.2 (%)
株式ベータ	1.57 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	81,462	51	13,656	109	12,556	128	3.62	0.00
2023/12	96,773	19	8,891	-35	14,997	19	4.30	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q1	23,329	—	2,664	—	2,513	—	0.73	0.00
2024/Q1	21,301	-9	1,171	-56	1,129	-55	0.34	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インシュリンを世界初で開発した企業、肥満症薬やアルツハイマー型認知症治療薬に注目高まる

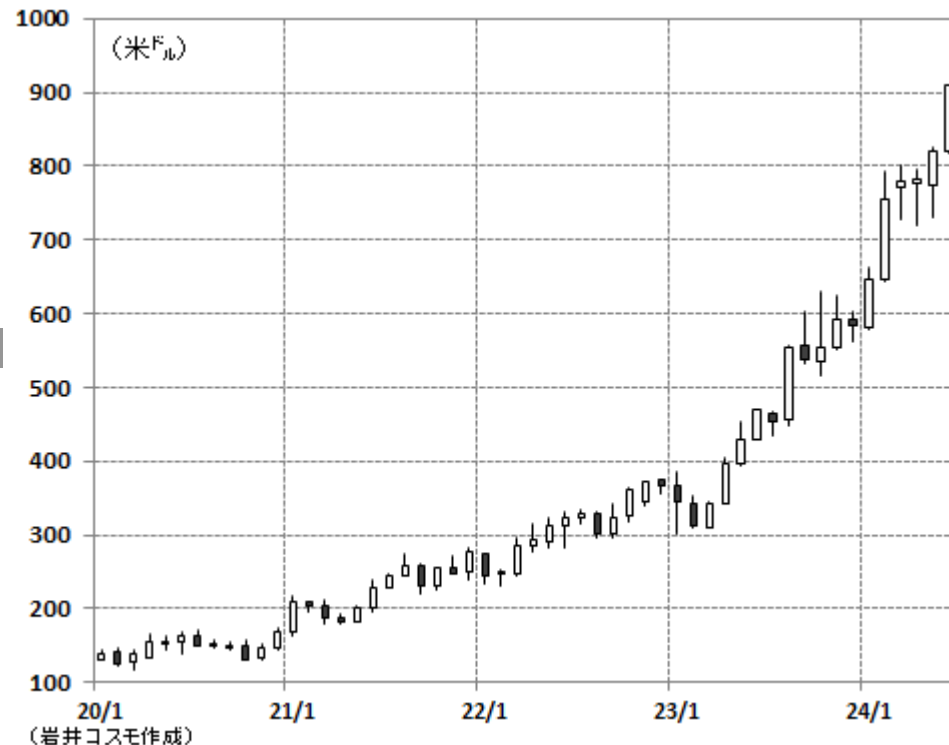
会社概要

米国製薬大手。インシュリンの実用化に世界で初めて成功した企業であり、神経系・内分泌・がん・循環器系の各分野で大型薬を販売。2019年2月にがん治療薬の開発のロキソ・オンコロジーを買収、同年3月に動物医薬品事業の分離を完了。2021年1月に神経変性疾患の遺伝子治療薬を手がけるプリベイル・セラピューティクスを取得した。1876年創業、本社はインディア州インディアナポリス。

注目ポイント

□ **肥満症薬で脚光、新薬開発も充実**: 足下業績は2型糖尿病治療薬「マンジャロ」と同成分の肥満症治療薬「ゼブパウンド」の売上をけん引。両薬は「GLP-1/GIP受容体作動薬」で食欲抑制効果があり、肥満症薬市場の急成長の一翼を担う。「ゼブパウンド」の治療では睡眠時無呼吸症改善の良好な結果が得られた。肥満症治療薬では注射剤の「レタルトルド」と経口タイプの「オルフォルクグリプロン」も開発中。

□ **アルツハイマー治療薬、承認に向け前進**: 6月の米FDA諮問委員会でアルツハイマー病治療薬「ドナネマブ」の初期段階患者に有効との判断を全会一致で決定、FDAは年内に新薬承認の最終決定を下す予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	909.04 (06/27)
52週高値(日付)	909.53 (24/06/27)
52週安値(日付)	434.35 (23/07/13)
時価総額	8,640億ドル 138兆8896億円
株価変化率(%)	56.3 (過去6ヶ月間) 95.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	87.7 (倍)
株価売上高比率	22.8 (倍)
PBR	67.4 (倍)
税前配当利回り(%)	0.57 (直近年率)
配当成長率(%)	15.2 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	51.1 (%)
株式ベータ	0.57 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	28,541	1	6,806	11	6,245	12	6.90	3.92
2023/12	34,124	20	6,555	-4	5,240	-16	5.80	4.52

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	税引前利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q1	6,960	—	1,530	—	1,345	—	1.49	1.13
2024/Q1	8,768	26	2,536	66	2,243	67	2.48	1.30

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

NYダウ採用のバイオ医薬品メーカー。肥満症治療薬「マリタイド」が注目集める

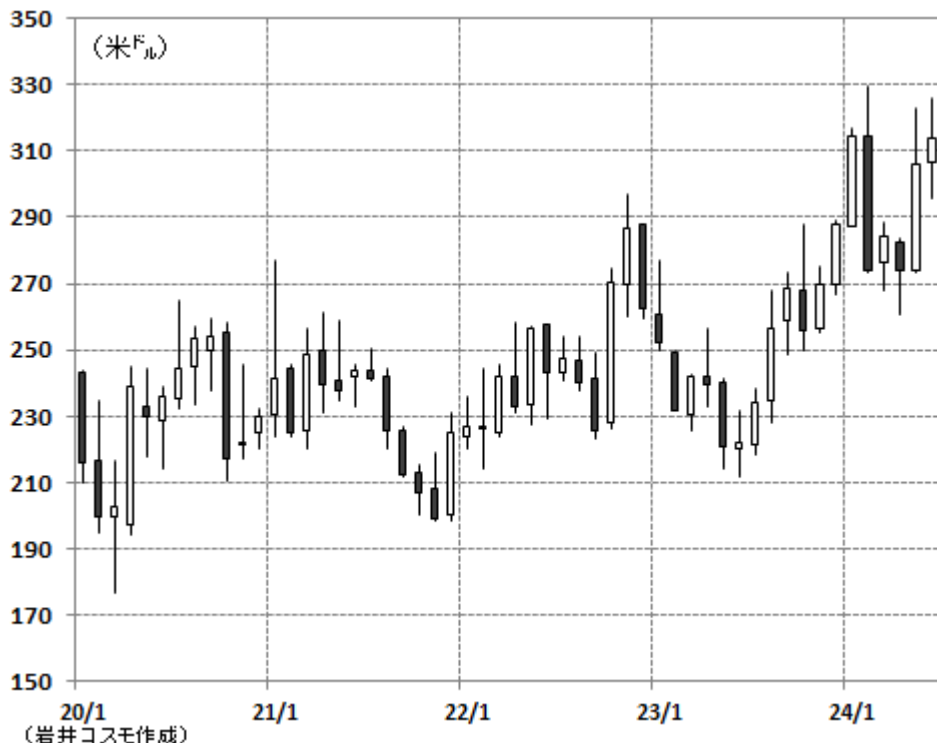
会社概要

米バイオ医薬品大手。重症向けの治療薬の発見/開発/製造/販売に従事する。遺伝子組み換えや細胞培養などのバイオ技術を用い、大型新薬を次々と開発した。主として難病(がん、腎臓病、関節リウマチ、骨疾患など)の治療薬や治療方法を開発する。1980年に創業。本社はカリフォルニア州サウザン・オクス。※2020年8月にダウ工業株30種平均採用銘柄に採用された。

注目ポイント

□ **M&Aで製品拡充**: 2019年、同業セルジーンから乾癬治療薬「オテスラ」事業を取得したほか、22年10月に血管炎薬を手掛けるケモセントリックス社を37億ドルで傘下に収めた。また23年10月に希少免疫疾患薬を手掛けるホライゾン・セラピューティクス社を約278億ドルで買収するなどM&Aを通じて製品ポートフォリオを拡充している。

□ **肥満症治療薬「マリタイド」**: 開発初期段階の2つの肥満症薬候補を有する。主要な注射減量薬候補「マリタイド」の中間段階試験結果を今年遅くに発表予定。月1回の注射で減量効果が見込め、服用中止した際の体重のリバウンドが起きにくい薬の開発を目指している。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	313.69 (06/27)
52週高値(日付)	329.72 (24/02/05)
52週安値(日付)	218.46 (23/07/07)
時価総額	1,683億ドル 27兆0,518億円
株価変化率(%)	9.5 (過去6ヶ月間) 40.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	31.4 (倍)
株価売上高比率	5.7 (倍)
PBR	33.5 (倍)
税前配当利回り(%)	2.87 (直近年率)
配当成長率(%)	7.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	72.6 (%)
株式ベータ	0.64 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	26,323	1	9,566	25	6,552	11	12.11	7.95
2023/12	28,190	7	7,897	-17	6,717	3	12.49	8.64

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q1	6,105	—	1,921	—	2,841	—	5.28	2.13
2024/Q1	7,447	22	991	-48	-113	赤転	-0.21	2.25

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトバンク傘下の半導体設計技術会社、スマホ以外の市場でシェア拡大

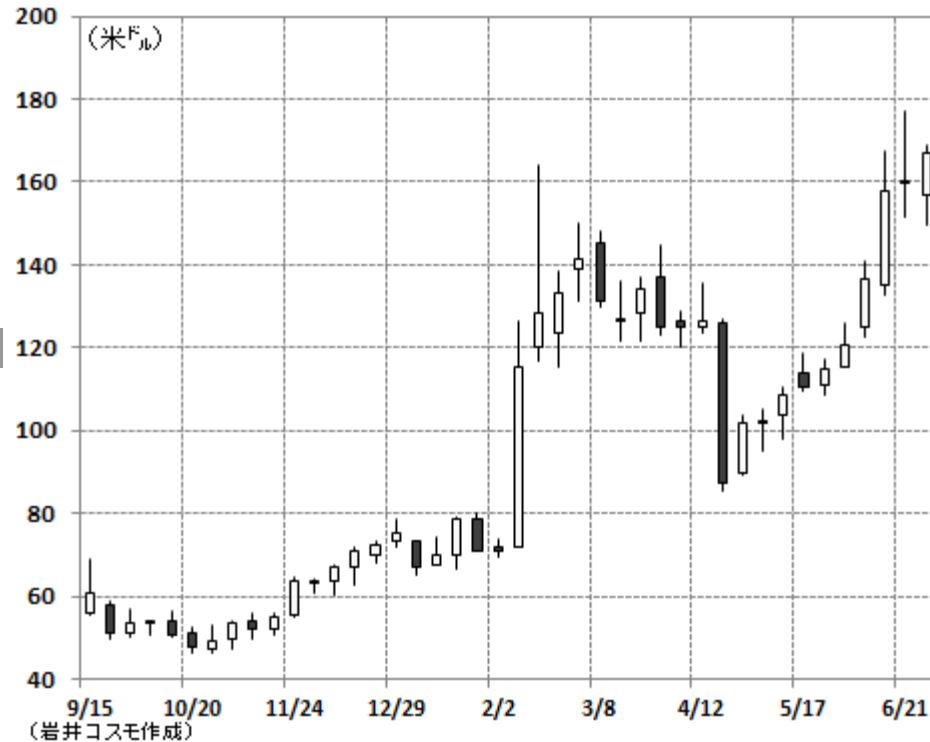
会社概要

ソフトバンク傘下の英半導体設計大手で半導体製造は行わず、低消費電力型プロセッサの設計技術を世界中の半導体メカ等にライセンス提供。パソコン、スマホ、データセンター、自動車、ネットワーク機器等様々な各種半導体に同社設計の回路が使用されている。主要顧客はアップル、アマゾン、エヌビディア等。創業は1990年、2016年にソフトバンクGが同社を買収(現在9割保有)、2023年9月にナスダック市場に再上場した。

注目ポイント

□**省電力半導体設計に強み**：プロセッサの電力効率の高さが強みで自動車やサーバ/クラウド/IoT向けでも採用が拡大中。スマホ向けCPUで同社22年の市場シェアは99%とほぼ独占、クラウドデータ向けでも市場シェアは上昇傾向(20年:7.2%→22年:10.1%)で特にアマゾンやエヌビディア向けで伸ばしている。

□**最新の設計仕様ほど使用料高く**：AI(人工知能)の演算処理など高性能化に伴い、アームが定めた1個の半導体製造に係る設計仕様(アーキテクチャ)の利用料も上昇。同社では今期・増収率を+18~27%とし、また来26・翌27年度の2割増収が可能との見方を示した。



株価チャート(上場来・週足)

株価データ	
株価(米ドル)	166.935 (06/27)
52週高値(日付)	177.31 (24/06/18)
52週安値(日付)	46.51 (23/10/20)
時価総額	1,749億ドル 28兆1,202億円
株価変化率(%)	124.8 (過去6ヶ月間) — (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	509.9 (倍)
株価売上高比率	53.1 (倍)
PBR	32.8 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	6.5 (%)
株式ベータ	— (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/03	2,679	-1	671	6	524	-5	0.51	0.00
2024/03	3,233	21	111	-83	306	-42	0.29	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q4	633	—	-50	—	3	—	0.00	0.00
2024/Q4	928	47	22	黒転	224	75倍	0.21	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

世界最大の半導体受託製造企業、先端半導体に強く、AI向けで高いシェア

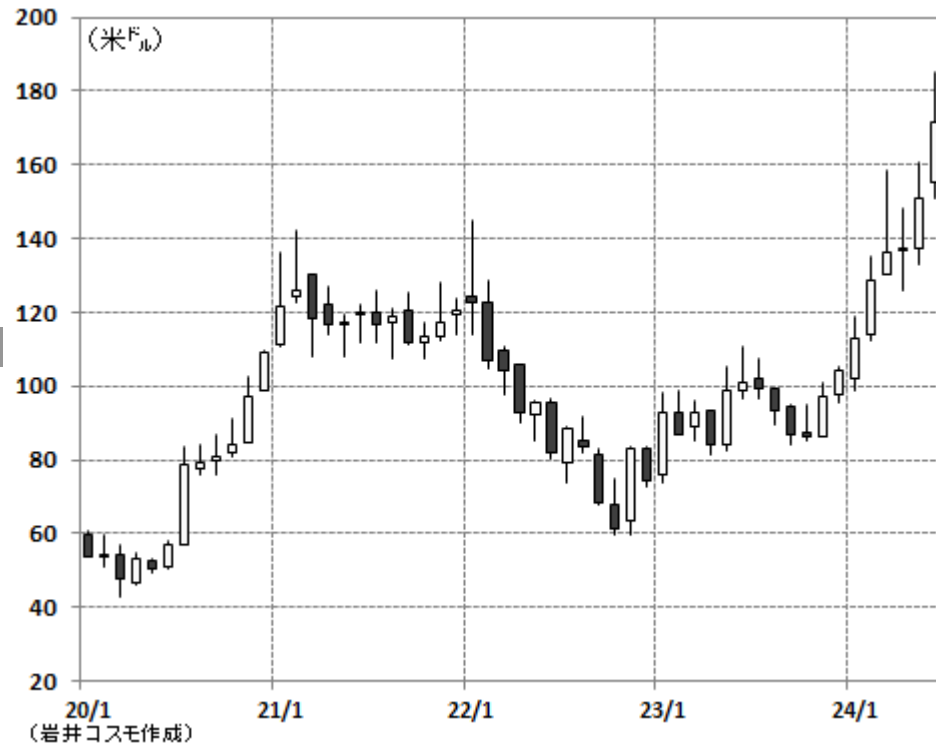
会社概要

顧客の製品製造を受託する、専門ファウンドリ・ビジネスの先駆企業。TSMCブランドでの設計/製造/販売を一切せず、顧客との競争を排除。世界最大の半導体製造ファウンドリとして2023年には528の顧客企業を対象に11,895個の製品を製造。製造する半導体はコンピュータ/通信/産業向けと多岐に渡り、あらゆる場面で使用される。台湾・ニューヨーク市場に重複上場。毎月原則10日に前月売上を発表。

注目ポイント

□ **先端半導体で9割のシェア**：主要顧客にアップルやエヌビディア、クアルコム、AMD、ブロードコムなど世界的大企業を抱え、最大顧客のアップルは全売上高の2割程を占めると見られる。顧客企業はスマホやサーバー等に使用される先端半導体の製造を委託。ファウンドリのシェアで5割超、AI等に使用される先端半導体でシェア9割を誇る。

□ **台湾・日本・米国・ドイツに半導体工場を建設**：各国政府が半導体を重要産業として補助金等で支援体制を取る中、同社は台湾の先端品工場を含む、日本・熊本、米アリゾナ、独トレステンに新工場を建設をする計画。熊本工場は2月に開所、年末量産開始を予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	171.63 (06/27)
52週高値(日付)	184.86 (24/06/18)
52週安値(日付)	84.02 (23/09/26)
時価総額	8,902億ドル 143兆1159億円
株価変化率(%)	64.0 (過去6ヶ月間) 68.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	33.8 (倍)
株価売上高比率	12.9 (倍)
PBR	8.0 (倍)
税前配当利回り(%)	1.43 (直近年率)
配当成長率(%)	15.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	25.5 (%)
株式ベータ	1.12 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	1株利益 (台湾ドル)	配当 (台湾ドル)
2022/12	2,263,891	—	1,121,279	—	992,923	—	191.46	55.00
2023/12	2,161,736	-5	921,466	-18	851,740	-18	164.24	65.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q1	508,633	—	231,238	—	206,987	—	39.91	13.75
2024/Q1	592,644	17	249,018	8	225,485	9	43.48	15.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

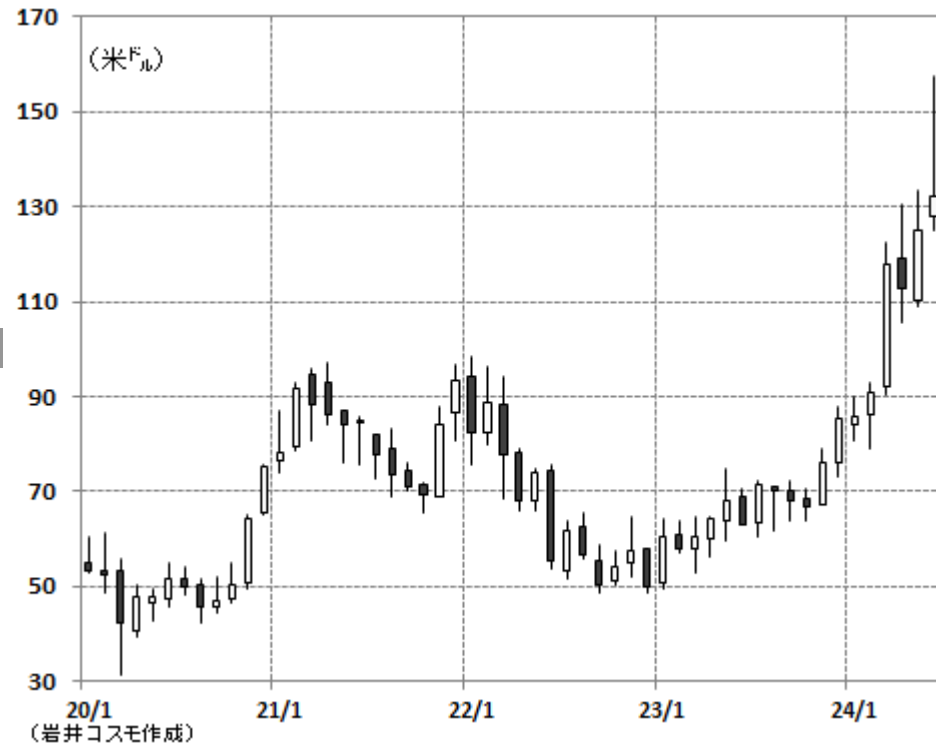
米半導体メモリ大手、AI普及やクラウド化を背景に新分野の需要が拡大

会社概要

1978年設立の半導体メモリ製造大手。DRAM分野では2013年に日本のエルピーダメモリ、16年に台湾・華亜科技を買収。韓国サムスン、SKハイニックスに次ぐ業界3位に位置(22年市場シェア)。製品別売上構成比(前期)はDRAMが71%、NANDフラッシュ27%、その他2%。DRAMは省電力型の半導体メモリ。NANDフラッシュは電気を切っても記憶内容が消去されない特徴を持ち、単価はDRAMより高い。

注目ポイント

- **超高速メモリを量産開始、エヌビディアに納入**：2月に超高速・高性能のHBM(広帯域幅メモリ)の量産化を開始、エヌビディアのAI用GPUと共に使用され、25年まで注文が埋まり、価格契約も大半が交渉済みの状況。25年のHBMの市場シェア約25%(現1割)を目指す。
- **2四半期連続黒字**：メモリ市況はコロナ特需の反動から需給バランスが崩れ価格低迷したが、生産調整の後、23年後半に価格が回復。24年3-5月期まで2四半期連続で黒字を達成。省エネ性能に優れた「HBM3E」は1億ドル超を売り上げた。会社側は汎用製品の需要回復期待とHBMの増産対応で25年度の過去最高の売上を見込む。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	132.23 (06/27)
52週高値(日付)	157.52 (24/06/18)
52週安値(日付)	60.505 (23/07/06)
時価総額	1,466億ドル 23兆5,710億円
株価変化率(%)	52.6 (過去6ヶ月間) 98.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	6.8 (倍)
PBR	3.3 (倍)
税前列当利回り(%)	0.35 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-3.4 (%)
株式ベータ	1.22 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/08	30,758	11	9,702	54	8,687	48	7.75	0.430
2023/08	15,540	-49	-5,745	赤転	-5,833	赤転	-5.34	0.460

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q3	3,752	—	-1,761	—	-1,896	—	-1.73	0.115
2024/Q3	6,811	82	719	黒転	332	黒転	0.30	0.115

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

携帯電話向け半導体最大手、AIパソコン搭載のCPUで脚光

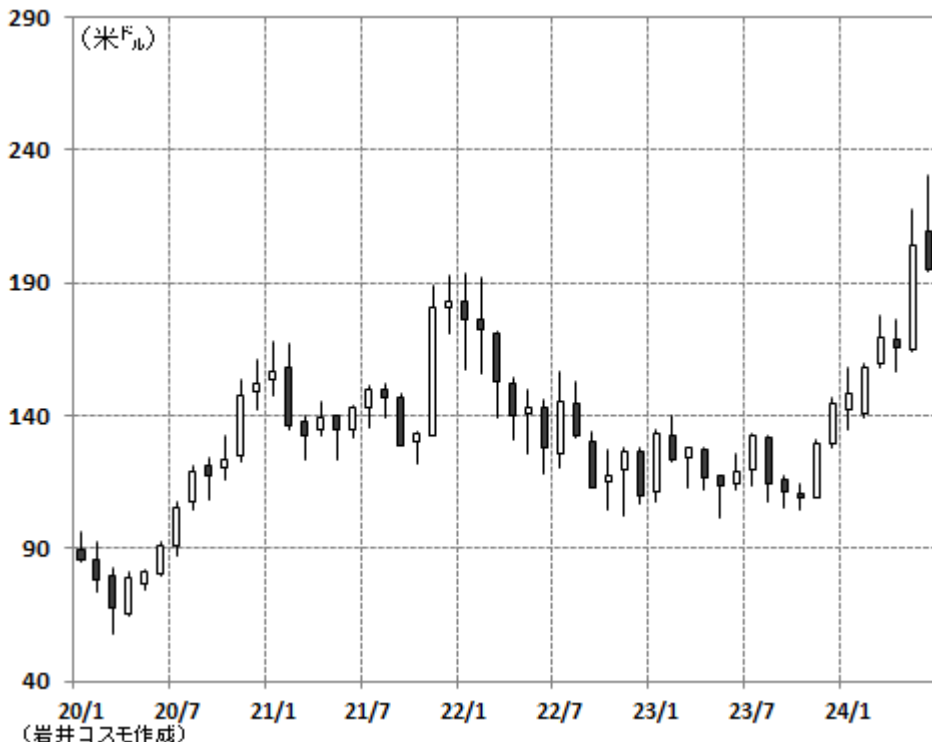
会社概要

移動体通信技術の世界最大手。携帯端末で用いられるCDMA方式携帯電話の中核特許を多数保有。自社製半導体販売とライセンス供与先メーカーから得る特許料収入が収益の柱。代表製品はスマホの多機能半導体「スナップドラゴン」。22年度から多角化路線を明確化、携帯電話を軸にパソコン、IoTや自動車向け等を強化して多様化を推し進めている。従業員数は約50,000人(23年9月時点)。

注目ポイント

□ **AIパソコンのCPUで脚光**: AI計算処理の一部をパソコン(PC)で行う新型AIパソコンをマイクロソフトやデルなど各社が相次ぎ投入、ネット非接続でリアルタイム翻訳等が特徴的機能である。CPUには「スナップドラゴンXエリート」等が搭載され、インテルやアップル製半導体を上回る性能の高さが話題となり、PC向け半導体市場シェア獲得の期待が高まる。

□ **スマホ市場の回復期待も追い風要因**: 5月1日発表の1-3月期決算では主力の携帯電話向け半導体売上が前年同期比1%増にとどまったものの、中国スマホメーカーへの今上期売上が同40%増加。自社製品競争力の高さと需要回復を反映しているとした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	195.15 (06/27)
52週高値(日付)	230.63 (24/06/18)
52週安値(日付)	104.35 (23/10/26)
時価総額	2,178億ドル 35兆0,115億円
株価変化率(%)	33.9 (過去6ヶ月間) 62.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	25.8 (倍)
株価売上高比率	6.0 (倍)
PBR	8.9 (倍)
税前提当利回り(%)	1.74 (直近年率)
配当成長率(%)	6.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	38.0 (%)
株式ベータ	1.39 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/09	44,200	32	15,860	62	12,936	43	11.37	2.86
2023/09	35,820	-19	7,788	-51	7,232	-44	6.42	3.10

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q2	9,275	—	2,090	—	1,704	—	1.52	0.75
2024/Q2	9,389	1	2,340	12	2,326	37	2.06	0.80

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

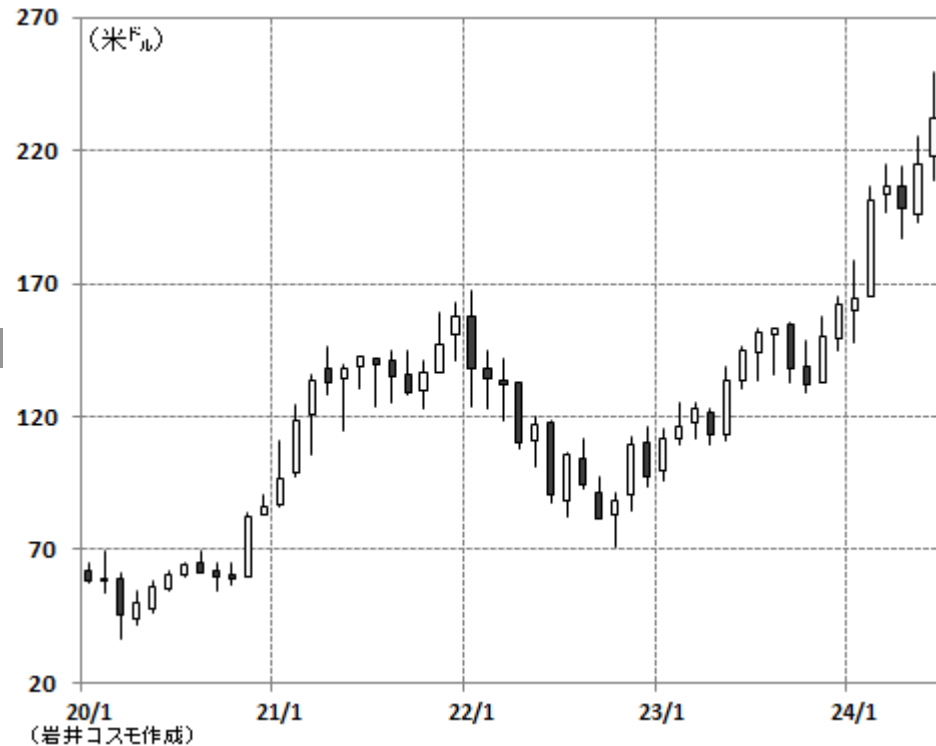
会社概要

半導体製造装置世界大手。半導体やディスプレイ等の製造装置や関連ソフトウェアを製造・販売。中核事業の半導体製造装置部門は成膜やエッチング等をはじめ、チップ製造の主要工程全般の装置を手掛ける。主要顧客は台湾TSMC、韓国サムスン電子、インテル等で直販体制を敷く。米国、ドイツ、台湾、シンガポール等に生産拠点を、本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は約34,800名(24年4月時点)。

注目ポイント

□ **半導体装置業界のオールランダー**： AMATは露光装置やレジスト塗布・現像装置等以外の複数タイプの製造装置を手掛け、高い競争力を持つ。半導体の進化は微細化や3次元構造化などに対応した各種製造装置をメカに提供。「PPACt(性能/消費電力/面積/コスト/市場投入までの期間)」というコンセプトで、半導体構造や製造工程、新素材等あらゆる面から新技術を取り入れる様、提唱する。

□ **新製品効果に期待**： ASMLのEUV露光装置による電子回路転写工程の回数を2回を1回に減らし、省電力・コスト削減に貢献する新製品「センチュラ・スカルプタ」が今後の成長ドライバーとして期待される。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	232.53 (06/27)
52週高値(日付)	249.36 (24/06/18)
52週安値(日付)	129.28 (23/10/31)
時価総額	1,925億ドル 30兆9,510億円
株価変化率(%)	41.6 (過去6ヶ月間) 58.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	28.1 (倍)
株価売上高比率	7.3 (倍)
PBR	10.6 (倍)
税前提当利回り(%)	0.69 (直近年率)
配当成長率(%)	23.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	45.2 (%)
株式ベータ	1.44 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/10	25,785	12	7,788	13	6,525	11	7.44	1.02
2023/10	26,517	3	7,654	-2	6,856	5	8.11	1.16
四半期業績								
2023/Q2	6,630	—	1,911	—	1,575	—	1.86	0.26
2024/Q2	6,646	0	1,912	0	1,722	9	2.06	0.32

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

半導体前工程のエッチング装置の世界大手、超高速DRAM(HBM)関連投資で恩恵

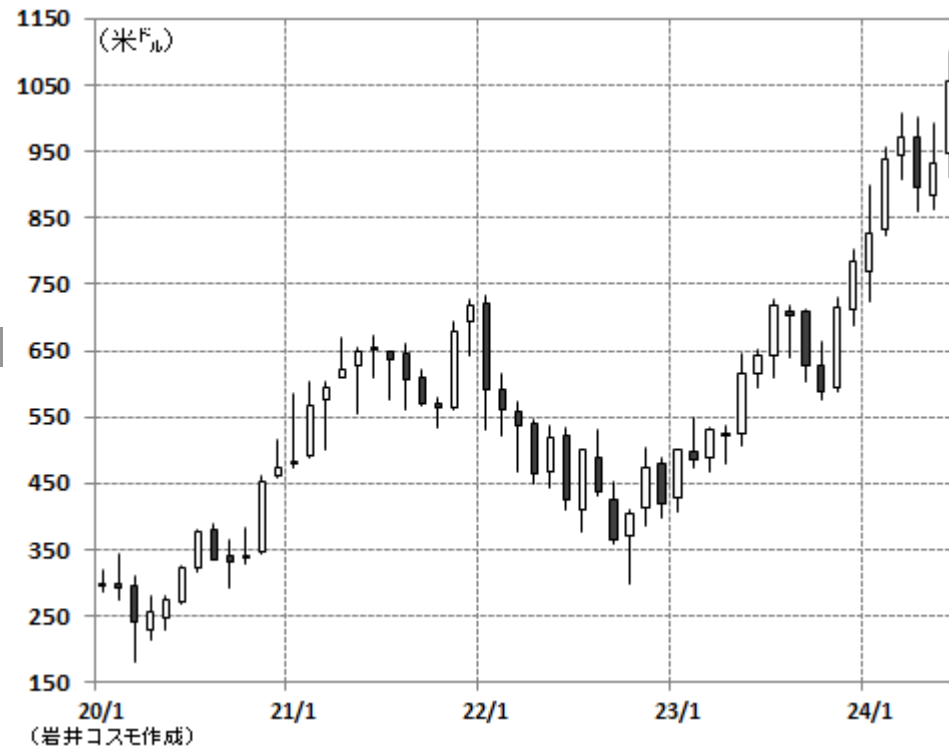
会社概要

半導体製造装置大手。半導体製造の前工程の精密な凹凸を形成するエッチング装置で世界トップシェアを誇る。ほか成膜やウェハ-洗浄等の機器も手掛ける。同社製ウェハ-加工装置を使い半導体メーカーはより小型、高速かつ高性能な電子デバイスを作れる。競合にアプライト・マテリアルズ、東京エレクトロン等。1980年設立、本社はカリフォルニア州・フリスモント、従業員数は約17,200人(24年3月時点)。

注目ポイント

□ **半導体構造の複雑化が需要拡大要因**: AI半導体など高性能なロジック系半導体は構造が複雑化し、各製造工程において不純物を完全に取り除くことが必須、同社の高性能・高品質の製品需要の増加要因となっている。マイクロンやSKハイニックスなど半導体メモリ各社は広帯域メモリ-(HBM)の量産化を進めており、同社製の電解めつき装置やエッチング装置等の活躍が期待される。

□ **大規模自社株買いと株式分割を発表**: 5月21日に100億ドルの自社株購入プログラムを発表すると同時に、10月上旬に1対10の株式分割を行うと発表。同社はフリーキャッシュフローの75~100%を株式還元する方針を持っている。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	1055.83 (06/27)
52週高値(日付)	1100.98 (24/06/18)
52週安値(日付)	576 (23/10/31)
時価総額	1,380億 ^{ドル} 22兆1,905億円
株価変化率(%)	32.8 (過去6ヶ月間) 62.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	37.7 (倍)
株価売上高比率	9.8 (倍)
PBR	17.2 (倍)
税前配当利回り(%)	0.76 (直近年率)
配当成長率(%)	15.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	43.9 (%)
株式ベータ	1.60 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2022/06	17,227	18	5,382	20	4,605	18	32.75	6.000
2023/06	17,429	1	5,175	-4	4,511	-2	33.21	6.900

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q3	3,870	—	942	—	814	—	6.01	1.725
2024/Q3	3,794	-2	1,057	12	966	19	7.34	2.000

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

導入企業の内勤業務の効率化・費用削減に貢献し高成長する企業

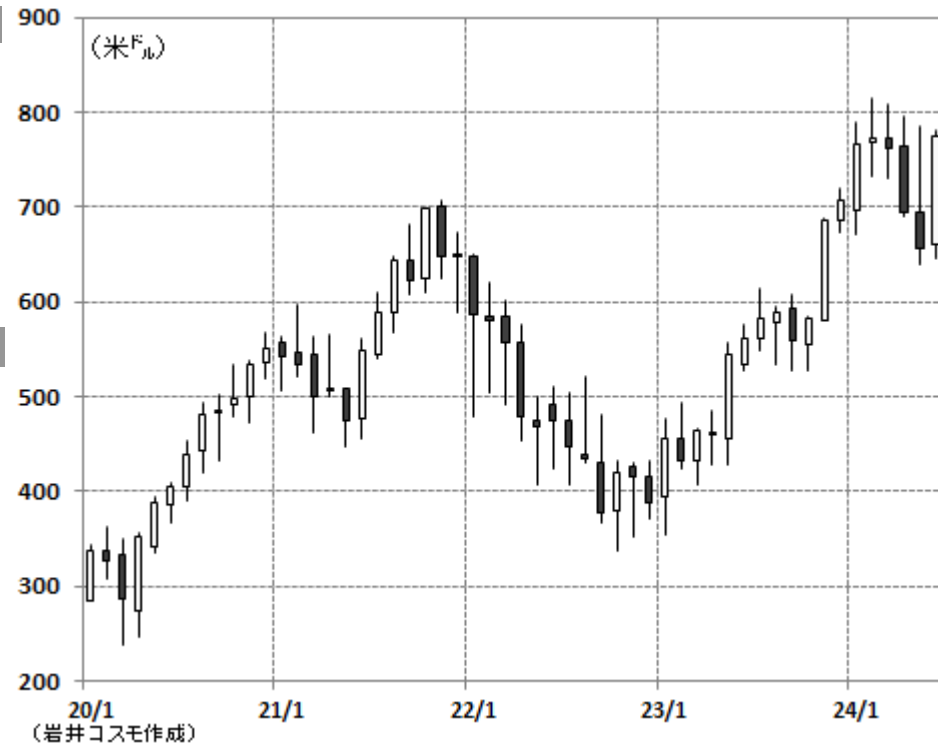
会社概要

米クラウド専門のソフトウェア企業。企業向けの社内ワークフローの自動化、業務プロセスの標準化を行う、社名と同じ「サービスナウ」というソフトウェアをクラウド形式で販売、顧客数は8,100社超。地域別売上(23年度)は北米64%、欧州等26%、アジア/太平洋が11%。2004年設立、12年6月にニューヨーク上場。本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は23,362名(24年3月末)。2019年11月にS&P500指数に採用。

注目ポイント

□ **日本の大手も採用する業務自動化クラウド企業**：主力の業務効率改善ソフト「ワークフロークラウド」を中心に販売、社内ワークフローの自動化を通じて社内の部署間のやり取りの遅滞や情報共有上の課題を解決し、経費節減と社内業務の効率化が同時に図られ、パナソニック、ヤマハ、NTTデータなど、日本大手企業の導入実績がある。

□ **生成AI製品の増収効果に期待**：昨年投入されたAI製品はこれまでの同社製品で最も速く成長していると会社側。5月の年次イベントで時間軸には言及しなかったものの、既存顧客のAI製品利用に伴う追加の潜在売上規模だけで10億～20億ドルに上るとした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	774.13 (06/27)
52週高値(日付)	815.25 (24/02/09)
52週安値(日付)	527.41 (23/10/25)
時価総額	1,587億ドル 25兆5,121億円
株価変化率(%)	10.0 (過去6ヶ月間) 43.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	151.9 (倍)
株価売上高比率	16.7 (倍)
PBR	19.6 (倍)
税前列当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	28.1 (%)
株式ベータ	1.54 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	7,245	23	355	38	325	41	1.60	0.00
2023/12	8,971	24	762	115	1,731	5.3倍	8.42	0.00

四半期業績

2023/Q1	2,096	—	144	—	150	—	0.73	0.00
2024/Q1	2,603	24	332	131	347	131	1.67	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

クラウドストライク・ホールディングス(CRWD)

高成長のエンドポイント・セキュリティ企業

会社概要

2011年設立の次世代サイバーセキュリティ企業。創業者のジョージ・カーツ最高経営責任者(CEO)は、米セキュリティ大手のマカフィーの幹部を経て、同僚のドミニク・アルペロビッチ氏と同社を立ちあげる。2016年に米民主党に対するロシア系グループのサイバー攻撃を発見し知名度向上。AIとクラウドサービスを活用し、サイバー攻撃に対処する技術やサービスを提供する。2024年6月にS&P500指数に採用。

注目ポイント

エンドポイント・セキュリティに強み：同社はエンドポイント防御プラットフォーム(EPP)分野を代表するセキュリティ企業。顧客が使用するモバイル機器やサーバなどのエンドユーザー機器を保護、100%クラウド型の基本設計であり、クラウドを使用しない従来型に対して競争優位性を持つ。23年9月に示した中計では、各種利益率の改善目標を明示した。

生成AI機能を製品に統合：対話型AI機能の付いたセキュリティ製品「シャロットAI」を導入し、IT運用者が日常言語で製品に問いかけると必要な脅威検知/調査/修復等の対応を指示してくれる。高度な専門知識がなくても迅速に対処できるのが特長である。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	387.29 (06/27)
52週高値(日付)	394.63 (24/06/17)
52週安値(日付)	139.38 (23/07/06)
時価総額	943億ドル 15兆1,518億円
株価変化率(%)	50.5 (過去6ヶ月間) 168.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	701.9 (倍)
株価売上高比率	28.3 (倍)
PBR	37.1 (倍)
税前列当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	6.4 (%)
株式ベータ	1.52 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/01	2,241	54	-190	赤継	-183	赤継	-0.79	0.00
2024/01	3,056	36	-2	赤継	89	赤継	0.37	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q4	637	—	-62	—	-47	—	-0.20	0.00
2024/Q4	845	33	30	黒転	54	黒転	0.22	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

動画配信サービス最大手、広告付きプランで会員増と広告収入獲得を目指す

会社概要

1997年創立。映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。祖業はネット宅配DVDレンタルだが、現在は完全に動画配信にシフト。映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化。2021年に韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナルコンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始。24年3月末時点の会員数は全世界で約2.70億人。

注目ポイント

□ **アカウント共有に厳格対処、ユーザー数の増加要因に:** ネットフリックスでは1億人程度が料金を支払わずに同社のアカウントを利用していると推定、他人のアカウントを共有している視聴者に厳しく対応する措置を各地で積極化した。結果、23年10-12月期の会員純増数は1,312万人と24年1-3月期は933万人と高水準を維持した。

□ **広告販売強化:** 5月半ばに広告付きプランの会員数が4,000万人に達したことを公表、提供地域の全契約者の4割を占めるという。同社は広告配信の提携先にマイクロソフトを選択したが、今夏にトレードスクやグーグルも加わる予定。25年末までには自社開発した広告配信技術を実装して広告主に直接、宣伝効果の測定を提供する予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	684.34 (06/27)
52週高値(日付)	689.88 (24/06/20)
52週安値(日付)	344.73 (23/10/18)
時価総額	2,949億ドル 47兆4,054億円
株価変化率(%)	39.2 (過去6ヶ月間) 64.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	47.6 (倍)
株価売上高比率	8.6 (倍)
PBR	13.8 (倍)
税前列当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	29.8 (%)
株式ベータ	1.32 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	31,616	6	5,633	-9	4,492	-12	9.95	0.00
2023/12	33,723	7	6,954	23	5,408	20	12.03	0.00

四半期業績

2023/Q1	8,162	—	1,714	—	1,305	—	2.88	0.00
2024/Q1	9,370	15	2,633	54	2,332	79	5.28	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前
交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。